



三沢さとし県議会レポート

発行 / 自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13 電話043(227)7411

公共事業の施工時期平準化を!

館山市議会から活動の舞台を県議会に移した1期目の三沢智(みさわ・さとし)県議は、昨年12月議会に続いて、6月定例県議会でも一般質問に登壇しました。三沢議員は、多くの事業者が厳しい経営状況に追い込まれている建設業について、年度末に集中する傾向の公共事業を、年間を通じて平均的に発注する施工時期の平準化を求めて、県当局の見解をたどりました。また、若者にとつて働きやすい環境を作るため、建設業における週休2日制の定着を求めて、県として取り組むよう要望しました。外航クルーズ船の誘致に向けた諸施策など、三沢議員の主な質疑を特集しました。

建設業の健全な発展へ

三沢議員 公共工事を受注する地元の建設業者から、厳しい経営状況を耳にします。この建設業の厳しい状況は、年度末の業務集中が原因のつだと思われれます。発注量が全体的に少ない上に、年度末の繁忙期に業務が集中し、年度当初は端境期で仕事が少ないため、業者は困っていると聞いています。公共事業の施工時期の平準化は、現在および将来の公共工事の品質確保と、担い手の中長期的な育成・確保を図るためにも重要なものと考えます。

そこで質問します。公共事業の施工時期の平準化に向けた県土整備部の取り組みはどうか。

県土整備部長 公共事業の計画的な執行等により、施工時期の平準化を図ることは、公共工事の品質確保とその担い手の中長期的な育成・確保を図るため重要なものと考えます。

先事務所と本庁主務課の連携を一層密にして、上半期7割執行の達成に向け、早期執行と適切な進捗管理を行うとともに、債務負担行為の効果的な活用を図ることなどにより、施工時期の平準化に努めてまいります。

要望 総務省と国土交通省の連名による平準化に向けた通知では、早期発注や債務負担行為の活用による計画的な発注の推進のほか、適切な工期設定のための繰越制度の活用といったことも示されており、千葉県としても、このようなことを踏まえて平準化に向けた取り組みをさらに進めていただくよう、要望します。

建設業に週休2日を

三沢議員 建設業では、若手入職者が減少し、将来にわたる公共工事の品質確保や地域の安全・安心の維持に支障の生じることが懸念されています。県土整備部では昨年度、将来を担う若者が建設業へ入職しやすい環境を整えるため、「完全週休2日制」を

制導入へ向けたモデル工事を実施したと聞いています。建設業が、若者にとつて働く魅力を感じる職場となるよう、引き続き県発注工事の完全週休2日制導入へ向けた取り組みを進めていただきたいと思います。これは要望とさせていただきます。

船形バイパスの進捗

三沢議員 船形バイパスの進捗状況はどうか。

県土整備部長 船形バイパスは、富津館山道路の富浦インターと館山港周辺の主要観光施設を結ぶ1.6キロの道路です。県はこのうち、南房総市域の0.5キロでバイパスと道路拡幅による整備を行うこととしており、昨年度から用地取得を進めているところです。

残る館山市域の1.1キロは、館山市が街路事業によりバイパス整備を進めており、平成26年度から用地取得を行い、「面積ベースで約4割を取得した」と聞いています。

正木付近の整備

三沢議員 県道和田丸山館山線の館山市正木付近の整備計画の状況はどうか。

県土整備部長 同路線の館山市正木付近については、交差点の形状が悪く事故も多発していることから、国道127号に新たな交差点を設け、直線で結ぶ0.2キロの道路整備を検討しているところです。

これまでに国道の管理者である国と接続のための協議を進めてきました。今後は市と連携し、交通管理者や地元の見解を伺いながら、早期に事業化が図れるよう努めてまいります。

要望 必要な道路整備を計画的に進めるため、予算の確実な確保に取組み、県と市が連携して、できる限り早い時期に完成を図っていただきたい。

●館山市と県政に関するご要望をお寄せください。

三沢さとし 県事務所
 〒294-0037 館山市長須賀470-1
 TEL0470-22-3051 FAX0470-22-3052

地域の声を県政に届け!

外航クルーズ船誘致と広域観光

水産業の現状を危惧しつつ



自席から再質問する三沢議員

三沢議員 外航クルーズ船の誘致によるインバウンド観光を促進するための受け入れ環境づくりに欠かせない地域連携について、県はどのように取り組んでいくのか。

商工労働部長 外航クルーズ船の誘致にあたっては、一度に大勢の外国人団体客を迎え入れ、限られた時間で本県観光地を効率よく巡っていただけるように、環境を整備しておくことが重要になります。

そのためには、県内各地にある観光資源の魅力を高めるとともに、市町村や観光事業者などが連携して、それらを結ぶ広域のかつ多

り進むこととしており、県としてもこの協議会に参加して、市町村など関係者間での円滑な連携協力が進むよう支援してまいります。

要望 富津市と安房地域では、東京湾フェリーを活用した宿泊・滞在型観光の推進で、すでに連携して取り組んでおり、県からも支援していただいているところです。

外航クルーズ船の誘致を契機に、君津地域と安房地域の連携に対して、県からも積極的な支援をお願いしたい。

河川海岸の整備

三沢議員 二級河川平久里川河口付近の堤防の整備状況はどうか。

平久里川は、洪水対策として河口から三芳橋下流付近までの3.8キロ区間で、時間雨量50ミリの降雨に対応する河川整備を実施して

います。河口付近の整備状況は、周辺より堤防が低い区間がありますが、計画上の洪水を流すために必要な高さは十分確保されているところと見えます。

なお、今後の整備は、津波や高潮対策による堤防整

海面でアワビ養殖

三沢議員 近年、新しい試みとして、海面でアワビの養殖が始められており、地域の宿泊施設や飲食店で、この養殖アワビが味わえることから、観光客の好評を博していると聞いています。養殖業の振興について、県はどのように取り組んでいくのか。

森田知事 養殖業は、水産物を計画的に生産できる特徴があり、本県では東京湾のノリ養殖のほか、内房地域では、限られた静穏かつ海水交換の良い海面を利用して、需要の多いマダイやシマジなどの養殖が安定的

に行われています。また、近年、漁業収入を増やす手段の一つとして、飼育カゴを海中に吊るして行うアワビ養殖が始められており、生産されたアワビは手頃な価格で提供され、魅力ある食材として地域の活性化に役立てられています。県では引き続き、安定生産に向けた養殖技術の指導や、生産被害の防止に繋がる有害プランクトン情報の提供を行うとともに、飼育カゴなどを利用した養殖の取り組みについても積極的に支援してまいります。

備を視野に、県全体の整備状況を踏まえながら、実施について検討してまいります。

三沢議員 館山湾海岸線の堤防等の施設整備は、観光面に配慮したものにすべきと思うがどうか。

この会議を通じて、堤防を遊歩道やサイクリングロードとして活用するなどの観光面についても、地元館山市の意見を踏まえながら検討してまいります。

県土整備部長 県では、海岸整備を実施する際には、海岸ごとに地元市町村が主体で開催する「海岸づくり会議」において意見を聞くこととしています。

「新鮮ちば海の幸」

三沢議員 水産物を活用した地域振興について、どのように取り組んでいくのか。

森田知事 地域の特色ある水産物の観光客への提供や、加工品開発による水産

物の付加価値向上は、地場産業である水産業の振興や地域活性化を図るため大変重要です。そこで、県では漁業協同組合が運営する水産物直売所や食堂の情報を「新鮮ちばの海の幸 水産物直売所マップ」により広く周知す

運動公園体育館へ空調

三沢議員 県立館山運動公園の体育館は、近年、施設の老朽化も目立っており、今後も多くの県民に施設を利用してもらうためには、適切な維持管理や改修を行い、さらに機能強化を図っていく必要があると考えます。体育館に空調設備を設置してはどうか。

都市整備局長 館山運動公園は、県南部地域における運動・レクリエーションの場として昭和59年に開設されました。施設の改修は、公園施設長寿命化計画に基づき、順次実施しています。体育館については、南房

総地域の中核的な役割を担い、各種の屋内競技を行える施設として、平成2年に供用を開始し、年間11万人が利用しています。県立公園内の体育館の空調設備については、利用が主にスポーツを行う目的であることや、設置や維持管理に多額の費用を要することから、設置していませんが、今後、同様の施設における設置実績や維持管理費用等について、研究してまいります。

要望 館山運動公園がより良い公園になるよう、できることから取り組んでいただきたい。



発言を求めて挙手する三沢議員